

IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2010年6月号 (http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/22-newsletter/nl_2010.html)

<平成22年度産業応用部門事業計画の要点>

1. 活動方針

平成17年度からスタートした研究調査運営委員会、論文委員会、編修広報委員会に加えて、H20年度には国際活動WGを国際化委員会に昇格させ、4委員会体制を確立した。この体制にて論文誌のさらなる充実を推進すると共に、会員の満足度向上、産業構造の変化を踏まえた新分野への取り組みと、会員の拡大、国際化の推進を目的とした活動を継続して行う。以下に具体的な重点施策を示す。

- (1) 論文誌関連： 論文誌の査読期間短縮により、IEEE、IEEなどとの差別化を図り、海外の投稿者を増やすことを目標とする。また、質の高い研究会資料が積極的に論文誌に投稿されるよう、特集論文を有効活用する。このために必要な、タイムリーで迅速な特集論文の企画と、査読期間短縮のための工夫などについて検討する。(部門誌総ページ発行予定：1872 ページ)
- (2) 調査研究活動関係： D部門研究調査運営委員会の運営刷新の定着化、特に各技術委員長間のコミュニケーションの充実と各技術委員会の活動見直し、将来動向を踏まえ、技術委員会の新設・統廃合を行い、活性化を図る。また、各技術委員会の一層の活性化のため、将来展望と中期的な活動計画を策定する(シナリオ&ロードマップ)。
- (3) 広報活動・講習会関係： 会員にとって魅力ある学会となるよう、新分野への取り組みや魅力あるテーマの設定などを進めながら、特に若手会員の定着を進めるため、学生員から准員・正員へのスムーズな移行に向けての勧誘要請も継続していく。
- (4) 国際化活動関係： 部門国際化委員会を中心に、国際会議の運営への支援体制の確立、部門論文誌の国際化を含めた部門の国際化戦略を打ち出す。
- (5) 部門会計関連： 部門収入予定 144,143 千円、部門支出予定 139,440 千円、繰越金予定 4,703 千円

2. 部門大会・国際会議等の開催予定

- (1) 平成22年度部門大会：会期/平成22年8月24日(火)～26日(木)、会場/芝浦工業大学 豊洲キャンパス、内容/一般講演(ポスターセッションを含む)、シンポジウム、オーガナイズドセッション、ヤングエンジニアポスターコンペティション、特別講演、懇親会、体験学習(子ども体験理科教室)、テクニカルツアーなど(参加予定者数：1,000名)
- (2) 平成23年度部門大会：琉球大学で開催予定(計画中)
- (3) 部門主催・共催の国際会議：IPEC-Sapporo2010(2010/06/21-24, Sapporo)(部門主催)
ICEMS2010(2010/10/10-13, Incheon, Korea)(部門共催)

3. 部門会員数の増減

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
6,390名(H18年10月)	6,325名(H19年10月)	6,374名(H20年10月)	6,334名(H21年10月)	6,500(H23年3月末目標)

平成22年度は、研究会や国際会議からの論文投稿促進による論文誌の充実、会員の満足度向上と部門活動活性化、分野横断的領域や新分野の開拓、会員拡大および会員サービスのためのタイムリーな情報発信、産業応用フォーラムなどの取り組み強化、国際化推進のための各種施策および国内外の学協会等との連携などを計画し、会員にとって魅力ある部門となるよう努めてまいりますので、活力ある学会づくりにご協力をお願い申し上げます。

産業応用部門役員会 総務企画担当